

# 埼玉県退職校長会

# 会報

題字・石田孝作  
第170号  
令和2年8月

## 会長挨拶



会長 石田 孝作

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、令和2年度の本会のスタートは、多くの事業の中止を余儀なくされました。

中でも6月5日(金)熊谷市・熊谷文化創造館「さくらメイト」で開催予定の第56回定期総会が、会員の皆様の命と健康を守るために中止に至ったことは、埼玉県退職校長会の歴史において初めてのことであり誠に残念でございました。

とくに、北部地区大里支部の新井実施委員長様を中心に実施委員の皆様には、この1年、定期総会実施直前までス

ピーデイにご準備、ご尽力をいただきましたこと、衷心より感謝申し上げます。

埼玉県退職校長会は、現在、会員数3,743名を擁し、10支部57班で構成され、全国連合退職校長会におきましては、2番目に多くの会員数をもって活動しております。

また、今年度の出発にあたりましては、新入会員155名の方々をお迎えすることができ、本会のさらなる躍進の原動力としてのご活躍を大いに期待しているところであります。

ところで、皆様ご存じのとおり、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新、また、生産年齢人口の減少等、社会構造や雇用環境が大きく変化しております。とくに、人工知能(AI)は日々信じられないスピードで進化を続けており、高度情報社会の牽引役として、今後一層私たち人類の暮らしを変えていく技術と

- ① 会長挨拶
- ②～⑧ 総会書面議決結果について  
慶祝叙勲
- ⑨～⑬ 一人一言  
新幹事から一言  
事務所移転
- ⑭～⑮ 新会員の声
- ⑯ 文芸 編集後記

なることでしよう。

教育界に眼を転じてみますと、新学習指導要領が小学校は2020年度から、中学校は2021年度から全面実施されます。とくに小学校では、新しく英語の教科化やプログラミング教育が必修化され、教師の働き方を工夫し、「授業の質の向上」と「授業の負担軽減」を図ることが急務であるとされております。

ところが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、学校は3か月間に渡る長期休校となり、本県では6月1日には全小中学校がスタートの運びとなりましたが、再開しても校長のリーダーシップのもと、①教育課程の見直し、②分散登校の工夫、③「3密」を避ける授業形態の配慮、④保護者への緊密な連絡など、多岐にわたって通常と異なる環境で指導していくことが必要であるといえるでしょう。また、文科省は、新型コロナウイルスの感染対策として

今年度から「特定警戒都道府県」の小中学校へ学習用端末を「一人一台」配備することとしております。これにより、校内授業の工夫とともにオンライン授業の準備も進められると思われまます。

緊急事態にある教育を学校教育現場に委ねるだけでなく、「社会総がかり」で着実に推進すべきであることは申し上げるまでもありません。いまこそ、学校経営の経験者として退職校長会がお手伝いできる教育支援は何かを思索し取り組まなければならない時と強く考えるところです。

一方、福利厚生に関わる問題については、少子高齢化の急速な進行等に対処して、年金・医療・介護など高齢者も「痛み」を伴う改革が不可避とされ、私たちの安心・安全な生活、親睦や豊かな生き甲斐を保障するためには、力を合わせ取り組まねばならない課題山積の現状です。

以下、本会が今年度に取り組み活動のうち、三つの要点について申し上げます。

その一 「教育支援・教育要望活動の一層の充実・進展」  
県当局等への要望活動をはじめ、本会が40有余年にわた

り推進してまいりました「現職・退職校長支部別教育推進協議会」のより一層の充実を各支部のお骨折りで図ってまいります。

その二 「会員相互の福利・厚生活動の活性化の着実な推進」  
新会員各位の再任用・再雇用については、校長職のキャリアを生かす活動の場の確保などの要望活動に一層努めてまいります。

その三 「情報の共有化による会員相互の『絆』の強化」  
会報年3回、ニュースレター1年2回刊行とともに、開設以来5年目となるHPにより、各支部・会員への迅速な情報提供、情報の共有化を通して全会員が心の絆をより強め、相互の連携と親睦を深められるよう努めてまいります。

結びにあたり新型コロナウイルスの緊急事態宣言は解除されたとはいえ、第2波、第3波の流行も予想されております。会員各位におかれましては、ご自愛の上、ご健勝でのご活躍を心より祈念し、本会への更なるご支援、ご協力をお願いし、会長挨拶といたします。